

< vol,page No. >

42,43-48

< section >

Endocrine Disruption P200

< English title >

LONG-TERM ENDOCRINE RELATED OUTCOMES OF 2,3,7,8-TCDD
EXPOSURE:THE SEVESO MORTALITY STUDY

< Japanese title >

2,3,7,8-TCDD の長期暴露による内分泌腺への影響(セベソ事故の分析)

< Authors >

Andrea Baccarelli, Angela C.Pesatori, Maria Teresa Landi, Dario Consonni,
Pier A.Bertazzi

< Keywords >

2,3,7,8-TCDD, endocrine pathway, population exposed, Seveso accident,

< Captions >

表 1 1976 年から 1996 年におけるセベソの汚染区域に長期間滞在していた女性における
エストロゲンの増加による死亡率

表 2 1976 年から 1996 年におけるセベソの汚染区域に長期間滞在していた女性の肺がん
による死亡率

表 3 1992 年から 1993 年のセベソ区域の住民の脂肪中 TCDD 濃度

< Summary >

2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-P-ダイオキシン(TCDD)はいくつかの内分泌経路を破壊する
という説がある。1976 年のセベソ事故により TCDD に曝露された地域の人々の内分泌腺
と健康状態のかかわりについて研究を行った。その結果、TCDD が人間に対し複合的な内
分泌かく乱作用を示すという仮説を立証するのに十分なデータが得られた。

< translator >

本田守

< end >

< vol,page No. >

42,49-54

< section >

Endocrine Disruption P201

< English title >

Determination of the estrogenic activity in effluents of a landfill leachate treatment plant analyzed by the E-screen

< Japanese title >

廃棄物処理施設流出水中のエストロゲン作用の E - スクリーンによる分析

< Authors >

Peter A.BEHNISCH, Kenji FUJII, Ken SHIOZAKI, Isamu KAWAKAMI,
Shin-ichi SAKAI

< Keywords >

E-screen,GC/MS,bioassay,BPA,BBP

< Captions >

表 1 われわれの研究と他の研究室との半数成長阻害濃度の E - スクリーンを用いた比較
検討

表 2 埋立地浸出水中の PCDDs/PCDFs , PCB,ビスフェノール A , ノニルフェノール , オ
クチルフェノール , エストラジオールの濃度

< Summary >

迅速で大量のサンプルを測定するために簡易で特殊なバイオアッセイが要求される。本研究ではエストロゲン作用を分析するためのE-スクリーンアッセイを確立する事を目的とし、埋め立て処理施設の生物分解、沈澱処理、活性炭処理の各肯定で得られた処理水と比較のために近辺の河川水のエストロゲン作用を E-スクリーンを用いて分析した。

< translator >

本田守

< end >

< vol,page No. >

42, 55-58

< section >

Endocrine Disruption P202

< English title >

QUANTITATION OF NONYLPHENOLS IN AN INDUSTRIAL TEXTILE EFFLUENT USING
GC-MS AND LC-NMR

< Japanese title >

GC-MS LC-NMR を使用した繊維物産排水中のノニルフェノール類の定量

< Authors >

E.Benfenati, P.Pierucci, A.Preiss, K.Levsen

< Keywords >

NPEO, NPs, GC-MS, LC-NMR

< Captions >

図 1 , 誘導体化をせずに測定したノニルフェノールのクロマトグラム

図 2 , 二つのノニルフェノール異性体スペクトル

図 3 , ノニルフェノールの NMR スペクトル

< Summary >

環境中や工業排水中のノニルフェノール(NP)の測定は過去さまざまな抽出法, 誘導体化法, クロマトグラフ法が開発されてきた。この研究では繊維物産の排水中の NP を誘導体化せずに GC-MS や LC-NMR で測定した。その結果 LC-NMR は環境分析の代表となるほどの適正を見せ、GC-MS は異性体を見るうえですぐれた感度を得られた。

< translator >

本田守

< end >